

タカラコラボラボ 第17回・第1期第17回TaCoLAB(宝塚市協働のまちづくり推進会議) 議事録	
開催日時	令和7年(2025年)11月21日(金)10:00~11:30
開催場所	会議室A・B
次 第	1 開会 2 議事 (1) つながりカフェ TaCoLAB について (2) 協働の事例集の更新について (3) 来期(2期)への引継ぎについて 3 その他 (1) 感謝状の贈呈及び挨拶 等 4 閉会
出席委員	田中会長、加藤委員、遠座委員、松村委員、龍見委員、大関委員、平岩委員、大関委員、橋之爪委員
開催形態	公開(傍聴人1名)

1 開会

事務局から、本日の出席者は9名であり、宝塚市協働のまちづくり推進会議規則(以下「規則」という)第5条第2項に規定する過半数の出席要件を満たしているため、会議が成立していること、及び傍聴希望者は1名であることを報告した。

2 議事

(1) つながりカフェ TaCoLAB について

ア 10月(第10回)の開催結果報告

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

- (ア) まちづくり活動に参加するには義務的ではなくて、本人の自由度というか興味関心をつぶさないようにすることが大事だというような話があった。
- (イ) (会長) 主体性が大事だということ。
- (ウ) スペシャルゲストが来てくださってすごく刺激になった。背筋が伸びる回だった。地域の事例など活動を最前線でされている方の視点から見て「つながりカフェどうですか」という話を聞いて良かった。
- (エ) 仕事柄どれくらいの人が来たのかどう広がったのかが気になるが、スペシャルゲストから続けていくことが大事、輪が広がってなくてもそこで入れ替わっても場が継続してあるというのが大切と感じた。
- (オ) (会長) スペシャルゲストはお声がけしたら時間があるということで来てくださった。お声がけしてよかった。

- (カ) 市内の活動で経験がある方の話を聴けて刺激があった。
続けていくことが大事という話を聴けてよかった。
- (キ) (会長) 延べ参加人数はいままでで100名近くが参加している。
素晴らしいと感じる。プレーヤーをいかに見つけてつなげていくかという
目的だが、そのプレーヤー本人の主体性を尊重することが大切と感じた。

イ 今後の開催について

表記について事務局より資料に基づき報告を行い、意見交換を行った。

- (ア) (委員全員) 意見・質問なし。

(2) 協働の事例集の更新について

ア インタビュー 現在の進捗状況の報告・今後の予定について

表記について事務局より資料に基づき説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) (委員全員) 意見・質問なし。

イ 作成中記事(案)についての共有、校正

表記の件について、2名のライティング担当より記事(案)について説明を行い、意見交換を行った。(記事内容に関する意見交換省略)

- (ア) (伊丹西高校との取り組みについて、)高司まちづくり協議会が当初主体だったが、伊丹西高校の取組をどうするかということから担当の先生が生徒を巻き込んだことがきっかけだったので主体を伊丹西高校ととらえている。
- (イ) 学生の写真は掲載したいが、個人情報の観点もあり躍動感のある活動写真の掲載が困難。
- (ウ) (事務局)写真のキャプションの方法はほかの記事と併せられたらと思う。
- (エ) 画像の中に文字が入っていても、設定でこういう画像というのがわかるようにできる機能があるが、画像に写真+キャプション、画像に文字を入れる方法とあるので統一したい。
- (オ) 写真の様子を説明する表現方法について意見はあるか。
- (カ) 全体をですます調で統一するかどうするか。
- (キ) 今はばらばらだが指摘あればあわせるか考える。
- (ク) 個性があるから統一しなくてもいいのでは。
- (ケ) キャプションで「。(句読点)」があるかどうかでも統一しなくてもいいのでは。
- (コ) 様式だと硬いイメージだが、みんなが書いているという感じも出るので統一しなくてもいいのでは。市役所的にはどうか。
- (サ) (事務局) 伝わるのが大切なので、記事作成における個性という点では、統一しなくてもいいと思う。
- (シ) (会長) 表現はこのままとするが、キャプションを画像にするかどうかは市のルールに基づいて変更するか決める。

- (ス) (事務局) 写真について高校生以外のお子さん等が写っている写真もあるが許可は得ているか。
- (セ) 写っているのは生徒。掲載されている分は許可を得ている。

(3) 来期(2期)への引継ぎについて

ア 引継ぎ書(素案)の検討

標記の件について事務局より説明を行い、意見交換を行った。

- (ア) 最後の申し送り事項について書いておくだけでいいのかなと思う部分はあるが、議論できていない部分もあるので、書いておくことに意味があるのかなと思う。
- (イ) 5ページの部分で記載をするという形で終わっているが、検討する可能性はあるのか。1番2番の部分。
- (ウ) (事務局) 今後の課題として考えている。2期でできなかったとしても今後検討する意味合いで記載している。
- (エ) (事務局) 課題として記録する目的で残した方がいいという意見があったので残している。
- (オ) プレーヤーづくり視点で担い手を作る中で大事な要素だと思うので、1つのテーマとしてどこでやるか具体的に決めておかないと忘れてしまうのでは。
- (カ) (事務局) 指摘通り議論するタイミングを定めることを考えます。
- (キ) ほかの議題とひっかけて考えていければいいと思う。
- (ク) コミュニティビジネス、ソーシャルビジネスにつながるために困りごとを解決するために委員も議論していかないといけないと思う。
- (ケ) 具体的事例等がないとなかなか難しいので、記載するだけでなく入っていないといけないと思う。具体的事例課題はなにかあるか。
- (コ) 具体的事例として、前身の促進委員会で出たのは、まちづくり協議会や自治会で、仕事としてやっているものを地域活動では無償とするのかということに疑問を感じるので報酬を考えないといけないということ。また、勤労世代の地域離れも問題。その解決のために報酬というのはきっかけづくりになるかもしれない。森市長がいろんな経験から引き出しを持っている。私たちが宝塚市以外の事例も見つけてきてこんな事例もあるというのを紹介しあってもいいと思う。
- (サ) 自治会の連合体はインスタグラムを始めた。ホームページもしている。ただこういうのはスキルがないとできない。スキルのある方に外部委託して費用を払ってシステム面倒を見てもらっている。有能な方がいてもちょっと手伝ってというわけにはいかない。有償あってこそかなと思う。じゃないと組織が続かない。
- (シ) 推進条例の検証とかも意見を述べるのができるのが審議会だと思う。

お茶代出す出さない等体制づくりとかも話し合わないといけないと思う。
委員だけでなく地域の意見も取り入れていきたい。

- (ス) 検証するものがざっくりしすぎていて何を検証するのかわからない。もっと具体化したい。
- (セ) 今までの時代と違い無償ボランティアというのは「善意の搾取」と言われかねない。ある程度費用がかかるということを2期で議論すべき。
- (ソ) (会長) あまり具体的にすると強制力もかかるので、市が配慮したのではないかと思う。4ページ(1)(2)については1期でかなり力を入れてきた。
(3)(4)及び前身の促進委員会からの引継ぎ事項5ページ(1)(2)についても2期でしっかり審議し、3期以降に持ち越さないように取り組んでいきたいと思う。
- (タ) (会長) 私も学生と一緒に活動しているが、郊外や田舎に行くとなると交通費等かさみ赤字となる。
何年も続くと赤字が積み重なる。市の助成金等に頼るだけじゃなく企業等にも頼って資金確保しないといけない。技術面だけでなく金銭面の支援制度も考えていかなければと思う。
- (チ) 12年前自治会の夏祭りで学生に手伝ってもらった。
学生10名の交通費について支給しただけでなく、表彰状も渡した。大学に持ち帰ってもらった時に単位取得につながった事例があった。
- (ツ) 学生団体にスマホ講座をしてもらっている。資金を調達しつつ助成を受けて活動している。謝礼はzukapo等も駆使している。なにかを渡す、謝礼でなくともそこで楽しむということがあればほかの地域の方も興味を持つと思う。
- (テ) (事務局)「意見の申し送り」の中で有償無償についての話は、この有償無償の意見をベースに含めて今後検討していくということで意見申し送り事項に記載するイメージでよいか。
- (ト) 2期へ引き継ぐために1期でできなかったこと等を記載するべきでは。
- (ナ) (事務局)、その部分を考慮して必ず議論すべき部分を記載するのがいいと思う。
- (ニ) (1)～(4)と番号を振るとそれが優先順位のように感じる。
- (ヌ) (会長) 番号を振ることで(1)(2)に交じりあってくところがあるはずなのに別個になっている部分もある。経過や濃淡もあるが、どこがベースとなるか2期で整理していきたい。
- (ネ) 5ページに記載している内容を踏まえて(1)～(4)の話を検討しながら進めていくという形にすればいいのでは。
- (ノ) 番号振りが優先順位間になっているのでフローチャートに示してもいいと思うし、タイムテーブルで示してもいいと思う。議題となると番号がないと気持ち悪いと思う。

- (ハ) (事務局) 時間軸の点も含めて議論していきたい。内容はメールのやりとりで修正する。

3 その他

- (1) 任期終了及びこの地域の取組に10年間携わっていただいた委員に市民協働推進課一同からの感謝状の贈呈。
- (2) 第1期終了に伴い市民交流部部長より挨拶。

4 閉会

以上